

# 2022 11月 町内会だより

tamagawagakuen-chounaikai 町田市玉川学園 2-19-5  
**玉川学園町内会** 月曜日～金曜日 10:00～16:00  
※年末年始を除きます  
 Tel/Fax : 042-725-0438 t-chounaikai194@bz03.plala.or.jp  
<https://tamagawagakuen-chounaikai.net> (※QRコードもご利用ください)



## 年末特別警戒パトロールのご案内 防犯防災部

年末特別警戒パトロールを下記の要領で実施いたします。皆様のご参加をお待ちしております。尚、参加者には、プレゼントを用意しております

- 第一地区** 12月25日(日) 18:00～ 玉川学園3丁目児童遊園 防災倉庫前
- 第二地区** 12月25日(日) 19:00～ きらぼし銀行前
- 第三地区** 12月24日(土) 16:00～ 玉川学園3丁目児童遊園
- 第四地区** 12月23日(金) 18:00～ 第四地区防災倉庫前
- 第五地区** 12月17日(土) 19:00～ 玉川学園5丁目なかよし公園 防災倉庫前
- 第六地区** 12月23日(金) 19:00～ 玉ちゃんバス東急台入口バス停付近
- 第七地区** 12月21日(水) 19:00～ 玉川学園7丁目児童公園
- 第八地区** 12月24日(土) 19:00～ 旧無窮会坂上

ご参加くださる方へご理解とお願い

- ※新型コロナ・ワクチン接種者のみとし、不織布マスクを着用の上、ご参加ください。
- ※体調のすぐれない方は参加を見合わせてください。
- ※パトロール中、私語はお控えください。
- ※「火の用心」などの発話は、ハンドマイクを持った方が行ない、参加者は無言でパトロールします。
- ※参加者は、拍子木や手を叩くなどで盛り上げてください。
- ※パトロール中、密にならないようソーシャルディスタンスを守ってください。

## 参加費無料 申込不要 雨天決行 第五回 地域のみなさんなら誰でも参加できます。 第六地区 みんなの防災フェアの案内

東玉川学園一丁目、二丁目にお住いの皆さん、みんなの防災フェアを下記の要領で開催いたします。事前の申し込みは不要です。

**12月18日(日) 9:30～12:00**  
 受付 ▶ こすもす会館 9:00～9:30  
 会場 ▶ こすもす会館及び 隣接する東玉川学園 4丁目児童公園

- 【種目】※採点をして合格者を決めます
- \* スタンドパイプ放水大会(個人競技)
  - \* 家庭用消火器による初期消火コンテスト(個人競技)
  - \* AED心肺蘇生コンテスト(チーム対抗戦)
- 各競技共に合格者や成績優秀チームには記念品や賞品を贈呈いたします。

尚、感染対策の為、体調の悪い方(咳、発熱、倦怠感などのある方)は、参加をご遠慮してください。参加者は不織布マスクの着用をお願いいたします。感染状況によっては、開催を中止する場合があります。

## 星空映画館を開催しました 玉川学園・南大谷地区 町内会自治会連合会

今年も昨年に引き続き、町田市交流事業補助金を基に玉川学園・南大谷地区町内会自治会連合主催の「星空映画館」が10月1日(土)に町田第五小学校の校庭で開催されました。



当日は午前中に運動会があり、お子さんの応援で皆さま疲れていると思いましたが、子どもたちや保護者の方など合わせて400人を超える観客が集まり大盛況でした。今年「SING ネクストステージ」というアニメを校庭に設置した大スクリーンで午後6時から上映しましたが、皆さん最後まで楽しんで帰られました。10月8日(土)には同様に南大谷小学校でも開催され、約480の方が来場されました。「とても楽しかった」「来年もやって欲しい」などのうれしい声がたくさん聞かれました。準備・運営にご協力頂いた南大谷小学校「おやじの会」、両校の教職員、PTA、町内会自治会の皆様、ありがとうございました。

## 参加費無料 申込不要 みんなで楽しいクリスマス コミュニティ部

玉川学園の演劇集団あつたか座とのクリスマスと一緒に楽しみませんか？ 子どもも大人も楽しめる演劇やクリスマスの歌、そしてハンドベルの演奏などを用意して皆様のお越しをお待ちしています。

**12月17日(土) 14:30～15:45(開場 14:15)**  
**玉川学園コミュニティセンター** (地下1階ホール※正面入って奥)  
※新型コロナウイルスの感染状況により、人数制限または開催中止となることがあります。

## 参加費 乾いた葉っぱ 申込不要 雨天中止 地区活性化事業 第7回 葉っぱを集めて焼き芋会

今年も第二地区では「葉っぱバンク」で集まった葉っぱを使い、子どもも大人も一緒になって焼き芋会を開催します。地域の皆様との交流を深めましょう!!

**12月4日(日) 12:30～14:30**  
**こども広場(児童館東側の広場)**  
 持ち物: 飲み物 タオルか軍手  
 参加費: 乾いた葉っぱ少々



## 秋の子どもまつりの報告 コミュニティ部

10月23日(日)、爽やかな秋晴れの下、町田第五小学校の校庭で青少年健全育成玉川学園地区委員会主催の「第34回秋の子どもまつり」が開催されました。コロナ禍の為、3年ぶりの開催となりましたが、待ちかねた子どもたちや保護者の方々など1,000人を超える皆様が参加し大盛況でした。

お祭りは子ども神輿の巡行で賑やかに始まり、たくさん子どもたちが担ぎ手に集まってくれました。町内会は今年も、けん玉、竹馬、コマ、ベーゴマ、メンコ、将棋、あやとり、おはじき、お手玉、羽子板、折り紙などの伝統的な遊びを子ども達に伝える「昔あそび」コーナーを担当しました。スマホやパソコンのデジタルなゲームに慣れた子ども達も「昔あそび」に興味を示してくれて、遊びのコツなどを町内会のスタッフに熱心に聞きながら楽しんでいました。

## ウォーキングの報告 コミュニティ部

10月27日(木)、肌寒い日で天気予報は雨模様とのことでしたが、幸い雨に降られずに歩行することが出来ました。34名の方が参加され、JR横浜線淵野辺駅から約3kmの行程で、目的地バイオエネルギーセンターまで歩きました。同センターは今年1月に完成したバイオガス化施設と焼却施設を一体的に整備した首都圏初の施設

町田市はこの1月、2050年までに温暖化ガスをゼロにすることを目標に「ゼロカーボン化」を宣言しました。一般見学者向けに色んなパネルや映像が準備されており、ゴミ処理にかかる手間費用が膨大なこと、3Rと言われているリデュース、リユース、リサイクルの大事さを学びました。当日雨模様と予報されていたこともあり、予定していた小山田緑地には行かずセンター内の多目的室で昼食を取りました。その後いくつかのグループに分かれ、センター内のリサイクル品販売所の家具を見たり、花センターを訪れたりしました。



## 地区別懇談会が開催されました

玉川学園・南大谷  
地区協議会

9月11日(日)、玉川学園コミュニティセンターにて地区別懇談会が3年ぶりに開催されました。町内会自治会、学校関係、地元の企業の方、高齢者施設の方など多くの方面から77名の方が参加されました。

玉川学園・南大谷地区協議会の活動が紹介された後、グループに分かれて玉川学園地区の未来についての意見交換という事で、「あなたが毎日ワクワクするのってどんなまち？」について意見を述べ合いました。次に、話したことを実現するために「あなたができること」について話し合い、代表的な意見をインタビュー形式で発表するというものでした。2時間はあっという間に過ぎてしまい、「時間が足りない」「もっと話をしたかった」「こうしたら良いね」などの声が次々と寄せられました。ここで寄せられた声は、11月5日(土)、6日(日)の「コミュニティセンターまつり」において掲示発表されます。また、これらの声を基に何を実現していくかを話し合う「地区ミーティング」を開催し、今後につなげていきます。

## 防災用品を試してみました

第七地区

晴天に恵まれた10月1日(土)の午前中、自主防災隊主導で支部の委員あわせて15名で防災お試し企画を行いました。七丁目児童公園での様子をお伝えします。

まずはじめにリヤカーを組み立て、テーブルをすんなり設置。次は、砂場がすっぽり収まる大きさのテントと簡易トイレ用テントの組立てです。なんと、大きいテントが思い描いた形になりません。天井の中心になる棒と四隅の柱の使い方をあれこれ考えどうにか完成。



そして投光器を点灯するため発電機の作動にトライ。2回程思いっきり紐を引くと無事に動き始めました。アレ？なぜかすぐに止まる。ガスボンベをセットした部分のフタも開いてしまう…。「オイルが入っていないんじゃないの？」などと全員で試行錯誤する中、やっと説明書を確認することに。始めから読めば良かったと反省しつつ正常運転まで漕ぎ着け、明るい日差しのもと投光器の明るさも確認できました。

この2年間はコロナ禍の活動制限もあって、せっかく購入した防災用品を試すことができず新品のまま防災倉庫に眠っていた物が、この日ようやく日の目を見ることとなったのです。というわけで一部は箱の開封からの組立て開始となりました。

災害が起きた時、箱からの取り出しにもたつき、発電機が作動できず暗いまま、テントの屋根が低いままなんてことにならないよう、自主防災隊主導で支部の委員が毎年試しておくことが必要だと強く思いました。

さて、お試しを終え「今日やっておいて良かった」の声が聞こえる中で撤収作業です。最後まで苦労したのがトイレ用のワンタッチテントを元通りにパちゃんこにする作業でした。



文・画 本田亮

## ～防災「より合い」玉川学園～ が開催されました

玉川学園町内会

10月18日(火)、玉川学園コミュニティセンターにて『～防災「より合い」玉川学園～』が開催されました。町内会自治会、自主防災隊、地元の団体・企業、駐在所のお巡りさんなど27名の方が参加されました。

9月の地区別懇談会のミニ版で防災に特化した話合いの場です。玉川学園地域に限定した形で、「災害時にあなたが不安に思うことはどんなこと？」「災害時の不安を少しでも取り除くために、できること」についてグループに分かれて話し合いました。皆さん身近に感じている「防災」だけに意見が次から次へと出て時間が足らなくなるほど活発な話し合いの場となりました。普段から考えてはいるけれど実行出来ていないこと、自分が行っていること、雨水を溜めて生活用水の備えにする話、金融機関の方からは災害時には通帳が無くても預金者であればお金を借りることが出来る、など知らなかった情報も聞くことが出来ました。年に数回は継続して開催して、子どものいる家庭や女性の立場からの声などを聴いてこの地域の防災に役立てたいと考えています。

## たま坂 ことこの葉

### 書道のこと II

今回は書道(漢字部門)で学ぶ対象についてお話しする。尚、漢字の発祥が中国なので当然の事ながら手本となるのは、空海等の例外を除いて殆どが中国の書家である。書を始めた当初は基本の筆法等のテクニックを一通りマスターすることに主眼を置いて種々の大家の作品を学ぶが、それが一巡すると多士済済の書家の中から、自分の好み、美意識、スタイルに最も合う所謂お気に入りの書家を選び、その書風に如何に近づけるかを只管模索するようになる。書道を志す最終目標は他にない自分自身の書の完成にあるが、地道な模倣作業も其処に辿り着く為には不可欠なプロセスである。参考迄に私のお気に入り書家を、以下全くの独断と偏見で選んで見た。

以下プロフィールを紹介して見たい。王羲之(4世紀)

は南北朝時代の東晋の人で中国でも「書聖」と崇められる別格の存在であり、子息の王献之と共に「二王」と称され、後代の書家で何らかの影響を受けなかった者は皆無である。特に行書に優れこの書体の実質的な完成者とされるが、傑作「蘭亭序」に見られるバランスのとれた理想形に近い書体に古来魅了されぬ者は無く、未だに書道修行の原点とされている。時代が下り初唐期には明君太宗(李世民 6~7世紀)が出て書を好み特に王羲之の作品をこよなく愛したのは有名だが、自身も行書の名手で魅力的な作品を残している。この時期に欧陽詢、虞世南、褚遂良といった名人が輩出し楷書体が完成する。就中、欧陽詢(6~7世紀)の書体は清冽でスタイリッシュな印象で見る者を引き付ける。更に時代が下り盛唐になると、従来の王羲之流のアンチテーゼ的な骨太な表現で信奉者も多い顔真卿(8世紀)が活躍するが、連綿(続け字)を多用した草書が魅力の懷素も同時代の人である。宋の時代は内政外政両面で脆弱さが目立つが文化の面だけは火輪の花を咲かせた印象があり、書の面でも蔡襄、蘇軾、黄庭堅、米芾と夫々個性的な名人が登場する。敢えて、奔放さと覇気で蘇軾(号東坡 11世紀)と米芾(11世紀)を選んだ。より時代が降ると、元の趙孟頫は東晋、唐の書風への復古主義を唱え、明、清では文徵明、董其昌、王鐸、傅山等が活躍するが、夫々特色があって書風多様化の傾向が見られる。趙孟頫(字子昂 14世紀)と王鐸(17世紀位)は似た経歴で、夫々南宋、明の遺臣ながら後年節を曲げて異民族の征服王朝元、清に仕えたことから、中国での評判は必ずしも芳しくない。私は寧ろ、仕官により活躍の場を得て完成度の高い品格ある自らの書で、中国文化の優越性を示した彼等の功は大と解すべきと思う。

年末年始事務所  
休業のお知らせ

12月24日(土)~1月5日(木)

## 資源回収の報告

9月重量は 78.7 トンでした

環境部

## 資源物は

収集当日の朝 8時半までに出してください

※古紙・ダンボールは必ず紙ひもで括ってください  
※古布は一度に出さず分散して出してください

資源物のお問い合わせは

町内会事務所または 大興資源へ

☎045-929-4813

資源物の不正な抜き取りを目撃した時は

日時、場所、回収車の車両番号などを町内会まで

☎725-0438